

建築等ノ為メ消防組、在郷軍人分会及青年団員ヲ指導シテ一致固結活動セシメ或ハ避難所ヲ設ケ或ハ救療所ヲ設置シ遺憾ナキニ努メタリ特ニ大震災直後一般交通機関破壊セラレ道路ハ崩壊或ハ崖崩ノ為埋没シ徒歩頗ル困難ヲ極メ行手ノ不安凶リ知ルヲ得ザルモノアリ且ツ余震頻々トシテ至リ横須賀市内ハ火災各所ニ起リ郡役所付近ニ於テモ列風ニ炎々タル火焰ノ盛ニ上リツツ、アリ人心恟々タルノ時ニ於テ負傷者ノ救療ニ関スル用務ヲ以テ急遽郡役所へ吏員ヲ特派シ打合ヲ遂ケシメタル等住民救護ノ為メ真ニ犠牲的精神ヲ以テ活動シタルモノアル等特筆スヘキモノアリ

大震災当日ハ各町村共吏員全部ヲ擧ケ救護処置ニ関スル協議ヲ遂ゲ深吏或ハ徹宵ニ及ビタル向アリ各町村共食糧供給ノコトガ撃テ大問題ナル二期セズシテ一致シ翌日ヨリ吏員ヲ部内ニ分派シ米麦等食糧ノ在庫高調査ヲ行ヒ之レガ供給ノ円滑ヲ図ルベク調査計画ヲ進メタリ又一面各部落ニ就キ被害状況ヲ調査シ之レガ善後措置ニ関スル対策ヲ構ズルコト、セリ

此ノ時ニ当リ郡長ノ米穀収用ニ関スル訓令ニ接シ直チニ収用ヲ開始シ其ノ供給ヲ町村ニ統一シ災後移入ノ期ノ凶リ知ルベカラザルヲ以テ一定ノ給与量ヲ最少限度ニ定メテ供給ヲ為シ努メテ持久ノ策ヲ採ルコト、シタリ爾來引続キ郡長ノ徵発事務ヲ補助シ徵発ニ

依ル食糧及副食物ノ配給ヲ受ケ順次海軍官庁及県ヨリノ配給食糧等ヲ受ケ之ヲ一般住民ニ適當ニ給与シ以テ食糧ノ欠乏ニ処シ遺憾ナカラシメタリ

食糧配給ノ外電燈消滅ニ依リ燈火用トシテ蠟燭石油マツツ等ノ配給ヲ併セ行ヒ臨機応急ノ処置ヲ講シタルハ勿論日ヲ経ルニ随ヒ震災救護事務局ヨリノ配給救護品及ビ各地寄贈ノ慰問品等ノ配分ヲ郡役所ヨリ受ケ之ヲ自町村ニ運搬ノ上一般罹災者並ニ避難者ニ普ク公平ニ配給ヲ行ヒタリ之等配給品ノ運搬ニ関シテハ道路橋梁ノ破壊甚ダシク或ハ陸路交通杜絶セル個所アルヲ以テ海路運搬等ヲ行ヒタル等非常ナル困難ノ伴ヘルモノアルモ吏員一同能ク艱難ヲ排シテ殆ント人夫ト撰フナキ行動ニ從ヒ敏速処置シタリ

町村吏員ハ以上配給事務ニ従事スルノ外被害ノ精査其他救護事務ニ忙殺セラレ全半潰家屋ノ応急措置ニ関シテハ到底之ニ手ヲ下スノ余裕ナキヲ以テ亜鉛板、釘、「コールタール」、「セメント」等ノ建築材料ハ必要數量ヲ取纏メ郡役所斡旋ノ下ニ供給ヲ受ケ之ヲ需用者ニ配布シ消防組員、在郷軍人分会員、青年団員等ヲシテ例潰家屋ノ応急処置ニ援助ヲ与ヘシメ且ツ隣保相互扶助ノ方法ヲ採ラシメ復旧ヲ図ラシメタリ而シテ漸次人心ノ安定ヲ見ルニ至リ各自業務ヲ励スベク指導ヲ加ヘ救護事務等モ除キニ整理スルノ方針

ヲ採リ又一面ニハ恩賜金ノ伝達、震災地人口調査、教育上ノ応急施設、道路橋梁ノ応急修理等直接震災ニ基ク諸般ノ調査及処置ニ従ヒ何レモ日夜寝食ヲ忘レテ努力シタリ以下各町村別ニ其ノ活動ノ概況ヲ掲クヘシ

各町村活動状況別紙ヲ以テ別ニ提出可致

四 復興計画ノ概要

震災ニ依リ被害ヲ受ケタルモノ、内最モ復旧ヲ急トシタルモノヲ小学校ノ設備充実トシタリコハ大正十二年度ニ於テ政府ノ低利資金ノ貸付ヲ受ケ応急措置ヲ施シ大正十三年度以降更ニ復旧資金ノ貸付ヲ受ケ復旧工事ヲ執行シツ、アリテ其ノ建築等ハ努メテ質実堅牢ヲ旨トシ華ヲ避ケツ、アリ教育施設ニ亞テハ道路橋梁ノ復旧ヲ取急キ其ノ個所ニ随ヒ因庫又ハ県ノ補助ヲ受ケ或ハ町村独力ヲ以テ工事ヲ起シ目下着々施工中ナリ道路ニ就テハ此ノ機ヲ利用シ幅員拡張ヲ行ハントスルモノアリ之等ハ県ト協商ヲ遂ゲ計画ヲ確立シ順次施工セント定メツ、アリ一般住宅ノ復旧ニ関シテハ低利資金融通ノ途ヲ斡旋シ又ハ町村自ら住宅建築ヲ行ハント計画中ノモノアリ或ハ住宅組合設立ヲ奨励シツ、アルモノアリ商工業復興ニ就テハ信用組合ヲ興シ低利資金融通ノ途ヲ開キ斡旋大ニ努メツ、アリ

以上ノ外町村ノ公営物等ノ復旧ニ関シテハ華美虚飾ヲ避ケ質実ナ

ル施設ヲ施シ以テ旧態ニ復スルト共ニ一般民衆ニ対シ範ヲ垂ル、コト、シツ、アリ

(注) 一、二は省略。

(三)

三取第一六七号 宛名 地方課長 署名 郡長

郡長(印) 合議(印) 主任(印)

大正十四年五月廿八日起案 大正十四年五月廿八日施行

神奈川県震災誌編纂資料ノ件

本年三月九日付及四月二十日付三取甲第一一二号ヲ以テ標記資料及御送付置候処尚各町村別活動状況別紙ノ通ニ有之候条及御送付候

追テ右ニテ全部ノ資料送付済ニ有之候条申添候

(別紙)

三浦郡田浦町震災誌編纂資料

大正十二年九月一日ノ震災ハ関東一帯ニ亘リ前古未曾有ト称セラレタル被害大ナルモノニシテ本町ノ被害亦著シク家屋ノ被害全倒潰三百五十四戸半倒潰六百四十三戸ナリ

災害ニ面シ住民一般ノ注意周倒ナリシ為メ火災ノ厄ヲ免レタルハ不幸中ノ幸ナリトス

震災勃発直後死傷者ノ多数ナルヲ認メ先以テ本町ノ中枢地タル船越区景德寺内ニ救護所ヲ設ケ医師吉田武諒氏専ラ之レガ任ニ当リ一方町内開業医ニ対シ吏員ヲ派シ傷病者ノ応急ノ診療ニ従事スベキ旨ヲ托ス

右救護所及一般開業医ニ於テ取扱ヒタル死傷病者数左ノ如シ

- 一 死亡者 九十二名
 - 一 負傷者 三百三十八名
 - 一 病者 八十六名
- 一方吏員ヲ町内各区ニ派シ被害ノ状況ヲ調査セシムルト同時ニ各区長ニ臨機応急ノ処置ヲ以テ住民ノ救護方ヲ命ジ尚前記船越区景德寺内ニ食料供給所ヲ設ケ炊出シヲ開始セリ
- 消防組員ハ非常召集ノ上埋没死傷者ノ発掘ニ従事シ同時ニ町内ノ安寧維持ノ為メ消防組員、在郷軍人會員、青年団員ハ昼夜警護ニ従事スルコト数ヶ月ノ久シキニ亘レリ為メニ一般ノ安全ヲ期シ得タリ
- 翌朝ニ至リ被害ノ状況ヲ郡長ニ報告スルト共ニ左ノ如ク救護方法ヲ定ム
- 一 死傷病者ノ応急処置
 - 一 食料ノ需供
 - 一 非常警戒

一 交通応急整理

一 民心ノ安靜

傷病者ノ救護ハ前記救護所ニ於テ引続キ従事セシメ一方海軍ノ援助ヲ得水雷学校、横須賀防備隊各医室ヲ一般ニ開放シ応急診療ニ従事シタリ

食料ノ需供ハ交通機関ノ途絶ト共ニ民心ノ尤モ脅威ヲ来シタル処ニシテ本町ハ先以テ前記炊出シヲナスト共ニ之レガ供給ノ途ヲ講ゼサルベカラザルヲ以テ町内ノ在庫米ヲ調査セシニ町人口ヲ以テスルトキハ僅々一兩日ヲ維持スルニ足ラザル数量ナルヲ以テ茲ニ於テ食料欠乏ヲ告グル結果トシテ之レニ依ル民心ノ動揺、犯罪ノ醸成ヲ恐レ極力食料節約ヲ宣伝スルト共ニ急拠区長ヲ召集シ協議ノ上米麦ノ均等配分ヲ開始セリ

役場庁舎及各小学校々舎ノ大部分ハ何レモ倒潰セルヲ以テ役場ハ海軍共済組合第二号館ヲ借受ケ之レニ於テ事務ヲ開始シ小学校ハ臨時不定期休業スルノ止ムナキニ至レリ

安寧秩序ヲ保持スル上ニ於テ三日戒嚴令ヲ布カル

食料ハ刻々ニ不足ヲ告グルニ至レルヲ以テ在庫米穀ノ買占メ隠匿ヲ防止スルト共ニ均等配分ニ依リ需用時間ノ延長ヲ計ル為メ戒嚴司令官ノ命ノ下ニ在庫米穀ノ全部ヲ徵發シ之レヲ戸口ヲ標準トスル均等

分配ヲナセリ

之レヨリ先海軍ノ援助ヲ受ケ米穀其他食料品ノ配給ヲ受ケ尚県、郡、ヲ通ジ救護品ノ引続キ到達ヲ見ルニ及ビ食料ニ関スル安定ヲ得為之人心ノ動揺集合的攪亂等ヲ惹起スル如キコトナキヲ得タリ

小学校ハ倒潰校舍ヲ急抛取片付クルト同時ニ授業開始ニ全力ヲ注ギ各校共九月二十四日乃至二十七日ノ間ニ至リ授業ヲ開始セリ

倒潰校舍跡へ直チニ仮校舍建設〔原校舍建坪ト同一ノモノ〕シ授業ヲナスニ至ル

校舍ノ倒潰ニ依リ職員及児童中ニ一名ノ死傷者ヲ見ザリシハ幸トスル処ナリ

爾後住民ハ倒潰家屋ノ取片付ケ及仮小屋ノ建設ヲ計リ若クハ親戚、知遇ニヨリ雨露ヲ凌グコトヲ計リ何レモ住居ノ安定ハ数日後ニ於テ之レヲ見タリ

震災后ニ於ケル衛生状態ハ一般ニ良好ナリシモ本町ハ元來飲料水ニ乏シク就中船越区ニ於テハ辛ジテ海軍水道ノ共用栓三基ヲ以テ数百戸ノ需用ヲ充タシアリシモ震災ニ依リ水道破壊セラレ料水ノ途絶ハ俄然悪疫發生ヲ見ルニ至リ今年十二月ヨリ翌年六月ニ至ル間ニ於テ船越区ニ腸チブス患者百余名ノ發生ヲ見ルニ至レハ甚ダ遺憾トス

ル処ナリ

此間防疫ニ関シテハ全力ヲ尽シ本県亦防疫関係吏員ヲ派遣セラレタルヲ以テ協力之レガ防止ニ努メ即チ前記六月ニ至リ全ク終熄セリ

交通ニ関シテハ鉄道ハ数日後東京迄ノ開通ヲ見タリシモ東海道線大船以西ハ鉄道橋梁ノ破損ニ依リ開通スルニ至ラズ從ツテ数旬ノ間ハ鉄道ニ依ル物資ノ到達ヲ見ル不能陸路ハ本町ノ地勢山ヲ廻ラシ如カモ山崩レニ依リ途絶セル要路數ヶ所アリ之レガ応急取片付ケハ一朝ノ事ニアラズ如カモ交通ノ要ハ此非常時ニ際シ尤モ緊要ノ事ナルヲ以テ海軍ノ応援ヲ得日々數百名〔延人員約一万五十人〕ノ海軍職工ト及土工人夫ヲシテ昼夜兼行ヲ以テ交通ニ支障ナキ程度ニ応急工事ヲナシタリ

爾後救護品ノ配給応急物資ノ移入、食料品ノ緩和、小学校々舎ノ応急工事、流言蜚語ノ防正、人心ノ安定、各自復旧ノ促進ヲ計リ以上ニ関スル事務ノ整理等日ヲ追フテ繁雜ヲ来セリ就中罹災者及其遺族ニ対シ莫大ナル恩賜金ヲ拝受セルコトハ恐懼ニ堪エザル所ナリトス全年十一月十五日現在ニ於テ震災調査ヲ施行其調査ニ依ル結果左ノ如シ

記

死 亡 八十五名

行方不明 十一名〔内七名ハ死亡判明〕

重傷者	二十七名
軽傷者	六十七名
失職者	七十九名
家屋全潰	三百五十四戸
半潰	六百四十三戸
破損	千二百五十七戸

「町村トシテノ活動状況」

浦賀町

大正十二年九月一日ノ震災ハ帝都ヲ始メ関東地方一帯ヲ震撼シタル大震災ナリシト共ニ本町ノ被害又甚大ニシテ全潰千七百半潰千四百八十戸死者二百数十人ヲ算シタルカ如キ状態ナリシモ幸ヒニ役場庁舎ハ全潰ノ厄ヲ免レ吏員又一名ノ死傷者ナカリシハ不幸中ノ大ナル幸ニシテ町ハ如斯大災害ノ後然モ人類生活上欠クヘカラサル総テノ機関ヲ破壊シ去ラレタル後更ニ来ルヘキモノハ火災ト饑ト悪疫ノ流行スルハ歴史ノ示ス処ニシテ町理事者ハ直チニ之レカ救済ノ方法ヲ講セントシタルニ未タ人心安定セス自然ノ力ニ驚怖シ居ルノ時俄然役場ヲ距ル数町ノ荒巻三百七十番地付近ヨリ火災起リ折柄ノ南風ニ猛威ヲ加エ谷戸一番地ヨリ船渠会社工場ノ一部ヲ焼払ヒ猛火ハ正ニ警察分署役場庁舎ヲ襲ハントシツ、アルノ際又々浦賀船渠会社工

場ヨリ出火シ続テ築地新町ニ延焼其ノ慘状言語ニ絶スルモノアリ理事者ハ吏員ヲ派シテ付近住民警察官、陸海軍等ト協力シ防火ニ努メシムル一方吏員ヲ督シ重要書類ヲ安全地帯ニ搬出セシメ一方又直チニ来ルヘキ罹災者ノ飢ヲ救フヘク吏員ヲ全町ニ派シテ区長ヲシテ炊出ヲ命シ一時的救済ヲナサシメタリ

斯ノ如キ災害ノ結果ハ輸送機関ノ回復セサル限り他ヨリ食糧品ノ供給ヲ受クルハ到底望ムヘカラサル事ナルト共ニ最モ恐ルヘク憂慮スヘキハ町在品ノ移出及隠蔽ニシテ町ハ之レカ防遏ヲナシ併セテ食糧品ノ需給ヲ円満ナラシムヘク吏員及区長ヲシテ各罹災者ノ所有米ノ調査ヲ行ヒ一方役場付近ノ商家在米ノ収用ヲ行ヒ九月二日ニ至リ町一般商人及農家ノ在米ヲ収用シタルモ交通機関回復シ他ヨリ供給ヲ受クル何日頃ナルヤ到底見込立タズ町在米ヲ以テ此ノ間持チ耐エサルヘカラス以テ町ハ九月二日ヨリ食糧品ノ節約ヲ為サシムヘク一人一日一合五勺ヲ限度トシ出来得ル限り永ク持チ耐エルヘク一般罹災者ニ示達シ罹災者中在米アルモノハ自己ノ持米ヲ以テ充テ在米無キモノニ対シテハ町ヨリ之ヲ無償配給シタリ

然シテ町ハ限リアル米ヲ以テ限り無キ日數之レカ救済ヲ為スハ到底望ムヘカラサル事ナルヲ以テ他ヨリ米ノ輸入ヲ図ルヘク熱田港ニ向ケ帆船ヲ派シテ米穀千俵ノ買入契約ヲナシタリ

九月三日ニ至リ町會議員区長全部ヲ召集シ町トシテノ救済方法ヲ確

立スヘク協議会ヲ開キ左ノ事項ヲ決定シタリ

一 救護本部ヲ役場ニ置ク

一 支部ヲ各区ニ置キ区長又ハ区長代理ヲ以テ区内救護事務ヲ掌ラ

シム

一 本部ハ食糧品其他救護資料ヲ支部ニ配給ス

一 支部ハ救護人員ヲ調査シ本部ニ申出救護資料ノ配給ヲ受ケ罹災

者ニ配給ス

一 米ハ一日小人一合大人二合トス

一 救護人員ハ其ノ区内ニ避難スルモノ全部ヲ含ム

但持米アルモ掘出等ノ日数ヲ要スルモノハソノ間ノミ給与ス

一 救護事務ハ公平ニ取扱フ事

一 区長ハ左ノ事項ノ調査及実行ヲナス事

一 死体ノ発掘ニ関スル件

一 死亡者及傷者ノ調査報告

一 道路整理ノ為メ区長ニ於テ区内青年ヲ指揮シ可及的早く整理セ

シムル事

一 悪疫ノ流行ヲ防クヘク衛生組合長医師等ト協力之レカ予防ヲナ

ス事

一 罹災者ノ避難所トシテ区長ニ於テ区内被害少キ家屋又ハ適當ノ
箇所ニ設クル事

一 倒潰家屋調査報告ノ件

一 震災救護ノタメ特別委員ハ町會議員中ヨリ六名ヲ選定ス特別委

員ハ毎日救護本部ニ出場町吏員ト共ニ救護事務ニ従事スル事

九月三日戒嚴令発布セラレ九月五日日本町ニ海軍少将樺山可也指揮官

トシテ着任セラル

爾來町ハ一般吏員及区長委員等ト協力罹災者ノ救護ニ全力ヲ尽シ漸

次海軍及他府県其他ノ寄贈米ニ依リ食糧品ニ対スル杞憂ハ除去セラ

レタルヲ以テ九月十六日ヲ以テ食糧品ノ無償配給ヲ廃止シ戒嚴指揮

官ノ指示シタル価格ヲ以テ廉売〔但シ自活シ能ハサル罹災者ハ無償

配給〕ヲナシ尚此ノ間罹災者ノ住宅復旧資料トシテ県海軍等ノ援助

ニ依リ亜鉛板鉄板等一万六千余枚ヲ購入希望者ニ有料配給シタリ

又他府県ヨリノ寄贈品ハ火災ニ困ル罹災者ヲ先ニシ漸次一般罹災者

ニ配給シタリ

漸次秩序回復スルニ及ヒタルモ未タ経済界ハ円満ナル資金ノ運用ヲ

見ル不能不不得町ニ於テ海軍又ハ農商務省ヨリ米ヲ購入シ米以外ノ

生活必需品ハ一般罹災者ニ公平ニ供給スヘク町商人其他ヨリ購入廉

売ヲ行フ等町ハ町ノ決定シタル救護方法ニ拠リ九月一日ヨリ末日ニ

第3章 関東大震災

至ル約壹ヶ月間理事者ヲ始メ一般吏員ハ全ク自己ノ家庭ヲ忘レ役場内ニ起臥シ専心町罹災者ノ救護ニ当リ震災救護特別委員又此ノ間毎日役場ニ出場事務ヲ援助シタルト区长ノ活躍海軍及官憲ノ援助斡旋ニ依リ何等ノ蹉跌ナク救護事務ヲ遂行シ十一月十五日戒嚴令廃止セラル、ニ及ヒ一般ノ救護事務ヲ打切レリ

尚教育施設ニ付テハ応急「バラック」ノ建設又ハ寺院其他適當ノ箇所ヲ選定シ九月二十五日浦賀小学校ヲ九月十二日大津鴨居走水ノ三校ヲ開始シタリ

大正十二年震災活動状況

久里浜村

大正十二年ノ大震災ニ対シ本村ハ先ヅ罹災者救助ニ最大ナル努力ヲ以テ之ガ救済ニ当リ先ヅ全吏員ヲ督励シ極力罹災者ニ対シ之ガ救済事業ニ従事シ昼夜兼行不眠不休ノ状況ニシテ殆ソド普通事務ヲ顧ルノ暇ナク且ツ救護品等ノ輸送ニ関シテハ県道不通ノ為メ海上ヲ以テシ陸上ハ辛ジテ之ヲ運搬シ罹災者ニ配分スルニ至レリ罹災ニ対シ救護品配分及救済ニ対シテハ各字ニ配給委員ヲ設置シ其ノ委員ノ活動ニ依リ全罹災者ニ対シ寸分ノ遺漏ナク内地ハ勿論諸外国ヨリノ厚キ恵沢ニ浴セシムルヲ得タリ

一 震災被害ノ状況

衣笠村

大正十二年九月ニ於ケル当村ノ受ケタル震災害ハ物質的ニモ精神的ニモ其程度ノ甚大ナリシハ云フ迄モナキコトナカラ三浦半島中比較的輕微ナリシハ誠ニ天祐トスル処今被害ノ大要ヲ掲クレバ左ノ如シ

死者 六人 負傷者 七人

但シ何レモ村外ニ於テ圧死ヲ遂ケ又ハ負傷ス

全潰家屋 十一戸 半潰家屋 二十一戸

但学校役場社寺工場等ハ倒潰ヲ免レタリ

半潰ニ到ラサルモ建物傾斜シ石垣土堀等ノ破壊シタルモノ多数

道路ノ亀裂 主ナルモノ五ヶ処

山崩 主ナルモノ二ヶ処

一 罹災者救護事業

(イ) 住家ノ全潰スハ倒潰ニ到ラサルモ住居シ能ハサルモノ、救済罹災者数少数ニシテ概ネ親戚故旧ニ於テ収容スルコトヲ得タリ被害家屋ノ復旧ニ付テハ各部落ノ団体有志等ニ依リ漸次原状ニ復活スルヲ得タリ

(ロ) 死亡者ノ処置

死亡者ノ大部ハ横須賀海軍工廠ニ於テ横死シタル者ニシテ同工廠ノ手厚キ処置ト当村部落ニ於ケル相互救済機関等ノ尽力ニ依

リ夫々町鄭ナル埋火葬ノ手續ヲ了シタリ

(イ) 負傷者ノ救護事項

横須賀市ハ勿論当村医師ノ無料施療ト熱心ナル看護ニ依リ適切ナル手当ヲ施シ得タルヲ以テ数日ヲ出スシテ恢復治癒シタリ

三 糧食ノ補給事業

震災救護事業中糧食補給ニ関スル事業程其範圍ノ広汎ニシテ且微発運搬配給等手数ノ複雑ヲ極メタルモノアラサリシガ上司ノ適切ナル措置ト周到ナル指導ニ依リ村内各種団体即チ消防組員、在郷軍人会員、青年団員其他有志ノ熱誠ナル援助ト一般村民ノ穩健ニシテ諒解アル行動トニ依リ此ノ事業ヲ円満ニ遂行シ得タルヲ欣幸トス而シテ微発贈買運搬等ニ付テハ役場吏員中夫々担任ヲ定メテ之ニ当リ之カ配給ニ当リ各部落代表者タル常設委員村會議員等ト協議ヲ遂ケ各種団員協力ノ下ニ他地方ヨリ避難シ来リタル者ハ勿論死者遺族傷者住家倒壊者等其被害ノ情態家族数等ヲ顧慮シ物品ノ配合数量ヲ定メ猶各部落貧富ノ度戸数ノ多少ヲ斟酌シテ配給シタリ

四 警備事項

非常ノ天殃ニ依リ大ナル災厄ニ遭ヒタルモノ失望悲觀厭世ノ念ヲ起シ或ハ殺氣ヲ帯フル等人心動揺シテ安定ヲ欠クニ到ルハ止ムヲ

得サル処殊ニ不逞鮮人ノ襲撃、主義者無頼漢ノ横行説ヲ流布セラル、時之カ安定策ヲ講スルハ又至難ナリキ幸ヒ村当局ハ陸海官憲ノ警備ト各種団員ノ協力ト相俟ツテ夜警巡視等ノ自警ニ勤メ事ナキヲ得タリ

五 其他

罹災者ニ対スル恩賜金ノ伝達ヲ行ヒ又村当局ハ宗教団ト協力ノ下ニ震災殃死者追弔法会ヲ営ミテ亡霊ヲ慰メ之等遺族ニ対シテハ配給品ノ特別支給ヲ行ヒ猶各部落ニ於ケル相互救済機關ニ依リ慰藉ヲ与ヘ家計ヲ助ケタルヲ以テ時々ノ經過ト共ニ夫々生計ノ途ヲ講スルニ到レリ

以上

町村トシテノ活動状況

葉山町

直後死者負傷者ヲ吊問シ食糧品ノ調達ニ意ヲ注キ一週日ノ后人ヲ関西方面ニ派遣シ米其ノ他食糧品及建築材料ヲ購入シ静岡、大阪等ヨリ多大ノ寄贈品ヲ受ケ官憲ノ援助ニヨリ速カニ罹災民ニ交付シ更ニ不自由ヲ感センメザリシヲ以テ不安ノ念ヲ去リ一般住民モ月余ニ於テ夫々職業ニ従事スル事ヲ得タリ尚各方面ヨリノ同情ニヨル寄贈品ハ其筋ノ指揮ニヨリ遺憾ナク整理ヲナセリ

「町村トシテノ活動状況」調査書

逗子町

大正十二年九月一日午前十一時五十五分ノ震災ニ依リ俄然庁舎ハ全潰ノ厄ニ遭ヒ吏員ハ僅ニ身ヲ以テ免ル、ノ状態ニアリ併シナカラ一人ノ死傷ヲモ出サ、リシハ最モ斃倅トスル所ナリ当夜ハ一同庭前ニ露営シ救護事務ニ関スル打合ヲナセリ

今回ノ震災ニ依リ第一ニ憂慮スヘキハ食糧問題ニアルコトヲ思惟セリ如何トナレハ輸送機関ハ破壊セラレ交通ハ杜絶シ到底短時日ニ米ノ輸入ヲ仰クコト不可能ナレバ或ハ需要ト供給トノ権衡ヲ失スルヤヲ疑ヒ兎ニ角部内在米ノ輸出ヲ防遏セント凶リ吏員ヲ派シ九月二日ヨリ部内ニアル所ノ米ヲ町村制第六六条ニ依リテ収用シ三日ヨリ白米一升三十五錢玄米一升三十錢ヲ以テ廉売ヲ開始セリ然レトモ当分輸入ノ見込ナク限リアル米ナレバ實際ニ米ノ持合せナキモノ、ミニ対シ隔日ニ三合宛即チ一人一日一合五勺ノ割合ヲ以テ販売セリ夫ヨリ海軍ヨリノ配給米県ヨリノ配給米他府県ヨリノ寄贈米ニ依リテ本町ニ於テハ幸ニ食糧ニ付テハ何等ノ蹉跌ナク配給ヲ遂行シ又罹災者ニシテ自活シ能ハサルモノニ対シテハ施米ヲナシ十二月末日ヲ以テ打切りタリ震災ノ為メ電柱ハ倒壊シ其ノ他ノ設備ハ破壊ニ付電燈ハ点火セサル状況トナリ自然蠟燭ノ必要ヲ感シタルニ依リ九月三日部内商人ノ手ニ在ル燐寸及蠟燭ヲ収用セリ是ハ暴利予防ト節約ト兼

ネシムル目的ニテ蠟燭ノ持合せナキモノニ対シ一夜二本宛無償配給セリ後県ノ配給ヲ受ケタルニ依リ共ニ之ヲ配給シテ継続セリ九月廿八日ニ至リ電燈ヲ点火セシニ依リ爾來其ノ數ヲ減シタリ十一月十四日ヲ以テ打切りタリ

亜鉛板ハ郡ヨリ平板一千枚生子板一万枚ノ配給ヲ受ケ一般罹災者ノ希望ノ者ヘ有償配給シ又学校其他公共用建物材料ニ充用セリ寄贈品ノ主ナルモノハ米衣類金物漬物醬油罐詰其他副食物慰問袋木炭毛布等ニシテ是ハ罹災戸數ニ分配シテ各區長ニ対シ配給方ヲ依頼シ一般罹災者ニ配給セシメタリ

又九月五日臨時救護委員トシテ町會議員區長其他町内重立者ヲ選ヒテ囑託シ毎朝午前八時役場仮事務所ニ集合シ罹災者救護其ノ他一般震災ニ関スル善後策ヲ協議シ居リシカ十一月一日ヨリ臨時必要ニ応シ開会スルコト、シ十二月末日ヲ以テ打切りタリ

震災ニ付村トシテノ活動状況

北下浦村

一 震災ノ程度

本村被害ノ程度ハ激甚ニシテ総戸數六百五十八戸ノ内住家全潰百二十六戸半潰百四十七戸物置倉庫及堆肥舍等ノ全潰二百三十七棟半潰六十六棟其他学校全潰寺院全潰五戸半潰三戸道路破損十一個

所延長百四十間田畑山林ノ破損埋没等二反歩宅地ニ亀裂ヲ生ズル等其亀裂長二十間巾十間ノモノアリ斯ル状態ナルモ火災ヲ蒙ラサリシ不幸中ノ幸ト謂フベシ

二 当村トシテノ活動

震災直后直チニ吏員全部ヲ村内各所ニ派シテ被害状況ヲ調査セシメテ概況ヲ知り先ツ村内長沢山田伊勢松ヨリ玄米十五俵ヲ買入レ之レヲ半搗トナシ最貧困ト認ムル者二十四戸ニ供給シテ生活ノ安定ヲ得セシメタリ

当時ノ現状ニ鑑ミ自給自足ノ外途ナキヲ顧慮シ村會議員役場吏員学校教員全部ニテ各部署ヲ定メ村内各戸ニ就キ食糧ノ調査ヲ行ヒシニ玄米〔四斗入〕二千百俵アルコトヲ確メ直チニ之レヲ村ニ統一シテ夫々配給シ自給自足ヲ完全ニ実行シ村民一同ニ稍々生活ノ安定ヲ与ヘタリ

三 日用品タル醬油、食塩、石油、蠟燭、砂糖等ノ欠乏ヲ告クルヲ以テ之レガ購入及浦賀町横須賀市等ニ於テ蔬菜類ノ不足ノタメ之レガ販売ノ仲介ヲナシ相互需用供給ヲ円滑ナラシメタリ

四 被害戸數多シニシテ村トシテ之レヲ顧ルノ暇ナキヲ以テ全潰建物を取片付及破損家屋ノ修理等ハ全部之レヲ隣保相互ノ友情援助ニ任セ応急施設用トシテ亜鉛板釘等ノ材料ハ之レガ購入ノ仲介ヲ

ナシタリ

五 学校全潰ニツキ村内全部〔六五八人〕無償ニテ之レヲ取崩シ尚続テ在郷軍人会青年団員全部一日宛応急施設工事ニ努力寄付ヲナシ工事ノ進捗ヲ図ル

六 道路応急修理ハ村内消防組員ニテ行ヒ交通ノ便ヲ図ル又当時鮮人襲来ノ誤報何処ヨリカ流布セラレ人心一入不安ノ念ニ驅ラレタルニ依リ消防組員ハ昼夜警戒ニ努メ間モナク戒厳令ヲ施行セラレ人心稍々安静ニ帰シタルニヨリ數日ニシテ警戒ヲ中止セリ

記

南下浦村

永遠ニ忘ルベカラサル大正十二年九月一日此日コソ我國民ニ大自然ガ強要シタ更始一新ノ第一日デアル

天柱砕ケ地軸折レンバカリノ関東地方ニ於ケル大震災ハ前代未聞ノ大震災デアツタ

響動ト震撼トノ為メニ脅威ノ戰慄尚止マズ東京横浜ノ市民ハ之ニ続テ起ツタ猛火ノ為ニ生キ乍ノ焦熱地獄ニ追ヒ墮サレ三浦半島ノ海岸地帯ハ津浪ノ為ニ幾多ノ可惜生靈ヲ亡スルニ至リ建築通信交通機關ヲ破壊シ実ニ其ノ慘状ハ言語ニ絶シタ本村ノ如キハ震源地ニ近く其ノ震動激甚タルト津浪ノ襲フアリテ其ノ被害ハ甚ダシク左ニ本村被

害状況及活動状況ヲ記セバ

本村被害状況調

役場 全潰

学校 尋常小学校二教室ヲ残シ全部全潰
尋常高等小学校分教場全潰本校半潰

村内一般 全潰 一二二戸 半潰ハ二三七戸 流失ハ三戸
死亡者 七人 負傷者 一二二人

本村ニ於テハ直ニ村内全部ノ被害調査ヲ行ヒ以テ左ノ四大方策ヲ立
テ焦眉ノ措置ヲ取ルコト、セリ

一 罹災民ノ救助方策

二 食糧ノ自給並ニ補充方策

三 村民ノ秩序保護安定ニ関スル方策

四 村民保護伝染病予防方策

五 慰問品並ニ配給品ノ配布ニ関スル件

右方策ニ先立チ役場ヲ本村伝染病隔離病舎ニ移転シ事務ヲ執ルコト
、シ其ノ応急措置ヲ取リタル概況ヲ列記セバ左ノ如シ

(1) 罹災民救助方策

村内罹災者調査ノ結果家屋ノ全潰シタルモノ並ニ貧困者等ハ此

際五人組合ヲ以テ隣保互助ノ方法ヲ講ゼシメ即チ一時雨露ヲ凌
クバラツク建設ニ努力セシメタリ

本村出身〔奉公〕〔親戚〕等ノ在東京横浜横須賀方面ノ罹災者
救助トシテ直ニ村民所有ノ発動機船ヲシテ各方面ノ罹災者探查
救助トシテ出航セシメ避難セシムルコトニ努力セリ其ノ結果避
難シ来レル者三千数百人ノ多キニ至レリ

(2) 食糧ノ自給並ニ補充方策

震災後最モ急ヲ要シタルハ食糧ノ自給補充問題ナリキ元来本村
住民ハ半農半漁ニシテ日常糧食ノ貯蔵ニ乏シク震災ノ初頭ニ於
テ其ノ不安ヲ感じ直ニ各役員ヲシテ村内食糧ノ現在高ヲ調査シ
一日ノ村民所要數量トノ関係ヲ考慮シ直チニ食糧ノ給助ヲ其ノ
筋ニ申請シ村民ニ対シテハ其ノ筋ノ訓令ニ基キ食糧ノ自給自足
ノ旨ヲ促シ代用食勵行等ヲ宣伝シタリ

(3) 村民ノ秩序保護安定ニ関スル方策

大震後ハ余震頻リニシテ安堵ノ余地ナク人心恐々自然人心ノ秩
序ヲ失スルノ傾向アリタレバ各部落ノ青年団、在郷軍人分会、
消防組ノ団体ヲシテ自警のノ団体ヲ組織セシメ其ノ部落ノ安寧
秩序ヲ保タシムルコトニ努力ス

特ニ鮮人ノ跳梁セルトノ流言蜚語トハ一時相当人心ノ不安動揺

ヲ来シ之ニ対スル懸念ハ戒嚴令ノ施行ト右自警団ノ為ニ村民ハ秩序ヲ乱サズ事故ナキヲ得タリ

(4) 村民ノ保健伝染病予防方策

警察官吏村民並ニ村設定ノ衛生組合ヲ督勵シ村民ノ保健衛生等ニツキ特ニ伝染病予防ニ努力シタリ其ノ結果一人ノ伝染病患者ナキニ至レリ

(5) 慰問品並ニ配給品ノ配布ニ関スル件

右ニ関シテハ村吏員学校職員、各名譽職員各役員協力シテ避難者及罹災民ニ夫レ夫レ配給ニ遺憾ナキ様努力シタリ

其ノ他払下米ノ配給建築材料ノ共同購入避難者ノ救助慰問且破壊セル道路及橋梁等ノ応急修繕ニ努力セシメタリ

震災誌編纂資料

三浦郡三崎町

大正十二年九月一日ノ大震災ハ史上未曾有ノ大惨事ニシテ当町ニ於ケル全潰半潰戸数五百有余戸惨死者四十有余負傷者三百有余名ヲ算ス

余震ノ動揺ハ海嘯襲来ノ声ト共ニ人心極度ニ動揺シ各自老幼ノ保護ニ努メツ、陸統避難ヲ開始ス

町長及警察分署長ハ率先部下ヲ督勵シ且三崎消防組並ニ三崎在郷軍

人分會員ト一致協力之ヲ數隊ニ分チ一隊ハ火災ノ防止ニ全力ヲ尽シ絶体火災ノ防止ヲ全フシ別隊ハ死体ノ発掘或ハ負傷者ヲシテ救護所ニ收容セシムヘク之カ運搬ニ従事シ且即刻ヨリ炊出シテ開始シ避難

民ノ救助ニ努ム続イテ鮮人ノ暴動ノ噂ヲ聴クニ及ヒ日夜警戒ノ任ニ當リ尚道路ノ整理、破潰家屋ノ取片付等ニ活動セリ

戒嚴司令部ノ設置セラル、ニ至リテハ相呼応シテ専ラ夜警其ノ他警戒ノ任ニ従事セリ

本町ハ即刻当小学校ニ救護所ヲ開設シ当町在住医師全部ノ出勤ヲ乞ヒ陸統トシテ收容シ来レル負傷者ノ診療ヲ開始シ最モ敏活ナル応急救護ノ実ヲ挙ケ続イテ連日連夜收容患者並外来患者ノ治療ニ従事ス此間実ニ三十有余日ノ永キニ及ヒタリ

尚本町ニ対スル寄贈品、慰問品其ノ他諸材料ノ配給ニ関シテハ職員一致協力連日連夜精勵或ハ貨物自動車ニ搭乗シ或ハ発動機船ニ便乗シテ諸材料引取ニ付人夫ヲ指揮シ自ラモ諸物品ノ取扱ニ従事シ其ノ配給分給ニ付テハ昼夜ノ区別ナク事ニ勤メ良ク罹災者救護ノ実ヲ挙げ得タリ

活動状況

初声村

未曾有ノ震災ニ会ヒ一般人民ハ一大驚愕ノ念ト住家及食糧問題并ニ

不逞鮮人騒キ等ニテ一時頗ル不安ノ念ニ驅ラレタルモ其後戒嚴令ノ
 発布ヲ見而シテ官憲ノ懇切丁寧ナル救援ニ依リ先以テ食糧等配給ノ
 円滑ヲ図レリ漁業者ハ海面ノ平常ナラズ農業者ハ貯蔵肥料ノ溢亡等
 大ニ憂慮シ為メニ袖手座食セルヲ以テ益々生活不安ニ陥レリ斯カル
 処戒嚴指揮官并ニ各方面ノ官憲ヨリ総テノ事由ヲ詳細指示ヲ受ケ此
 ニ於テ始メテ安定ヲ了解シ逐次各生業ニ就クヲ得タリ他市町村ヨリ
 本村内避難者ヲ調査シ十七世帯人員四十四人ニ対シテハ村民ト等シ
 ク慰問品寄贈品ノ配給ヲナセリ食糧品被服其他慰問品等ノ配給ニ関
 シテハ各区長ヲ召集シ村吏員ト協力シ白米外米ノ配給ハ一人一日三
 合ノ標準ヲ以テ無償配給シ其他総テノ慰問品寄贈品等ハ全村ニ漏レ
 ナク配給セリ小学校ハ殆ンド倒潰セシヲ以テ応急策トシテ四教室ヲ
 辛シテ修繕シ二部教授ヲ実施セシメ其他ハ神社寺院等ヲ借用シ以テ
 不完全ナカラ二部教授ヲ施行セシメタリ

一般民家ハ全潰家屋二百五戸非住家ノ全潰二百五十四棟住家ノ半潰百
 五十五戸非住家ノ半潰二百三十七棟其他大破損ノモノ多数ナリシヲ
 以テ此レ等ノ救護ニ関シテハ在郷軍人分会員青年団消防組員等協力
 シ倒潰家屋其他ノ取片付ニ努メタリ其他道路ノ応急修理又ハ電燈消
 滅シタルニ依リ在郷軍人会青年団員消防組員ト協力シ夜警又ハ警備
 ノ任ニ当ラシメタリ

活動状況

長井村

未曾有ノ震災ニ会ヒ一般人民ハ一大驚愕ノ念ト住家及食糧問題並ニ
 不逞鮮人騒キ等ニテ一時頗ル不安ノ念ニ驅ラレタルモ其後戒嚴令ノ
 発布ヲ見而シテ官憲ノ懇切丁寧ナル救援ニ依リ先以テ食糧等配給ノ
 円滑ヲ図レリ

漁業者ハ海面ノ平常ナラサリシヲ大ニ憂慮シ為メニ袖手座食セルヲ
 以テ極メテ生活不安ニ陥レリ斯カル処戒嚴指揮官並各方面ノ官憲ヨ
 リ海面ノ平常ニ復セサリシ事由ヲ詳細指示ヲ受ケシヲ以テ此ニ於テ
 始メテ出漁ノ安定ヲ了解シ逐次生業ニ就クヲ得タリ他市町村ヨリ本
 村ヘノ避難者ヲ調査シ廿二世帯此人員八十一名ニ対シテハ村民ト等
 シク慰問品寄贈品ノ配給ヲナセリ食糧品被服其他慰問品等ノ配給ニ
 関シテハ各区長ヲ其時召集シ村吏員ト協力シ白米外米ノ配給ニ関シ
 テハ一人一日三合ノ標準ヲ以テ無償配給セリ其他食糧品被服等ノ配
 給ハ其時々区長ト協力シ全村ニ漏ナク配給セリ

小学校ハ全部倒潰セシヲ以テ応急策トシテ三教室ヲ辛ウシテ修繕シ
 二部教授ヲ実施セシメ其他ハ青年会堂神社活動小屋等ヲ借用シ以テ
 不完全ナラ二部教授ヲ施行セシメタリ

一般民家ハ全潰家屋七十五戸半潰家屋七十二戸非住家ノ倒潰七十七

棟其他大破損ノモノ非常ニ多カリシヲ以テ此等ノ救護ニ関シテハ村青年団在郷軍人団ト協力シ倒潰家屋其他ノ取片付ニ努メタリ又電燈消滅シ其他鮮人騒キノタメ青年団在郷軍人会ト協力シ夜警其他ノ警備ノ任ニ当ラシタリ

武山村

一 大正十二年九月一日ノ大震ノ時午后二時頃武山々麓ノ一軒家ニ住居スル吉田与三郎宅ノ埋没セル旨ノ報ニ依リ同村字武、下武青年団員並消防組員等ヲ召集シ同家々族五人悉ク埋没セルニ付急遽救助ニ取リカ、リ先ヅ外部ニ露出シ其腰部以下ヲ圧迫セラレ悲鳴ヲアゲ居ル妻「リヨ」ヨリセントシタルモ何分ニモ巨石ノ堆積セル事故其ノ業容易ニ非ズ漸クニシテ日没時妻「リヨ」ヲ救出シ安全地帯ニ連れ行キ一方医師ヲ招キ介抱ヲ加ヘ尚他四人ノ掘出ニ努メ深夜悉ク掘出セシモ四人全部惨死ヲ遂ゲ居タリ此時妻「リヨ」モ介抱ノ効ナク遂ニ絶命セリ右同時ノ一ナリ

二 当村ハ被害ノ最モ極ナリシ林部落ノ倒潰家屋ノ為メ食糧品及其他物品ノ取片付方ヲ字林青年団員及消防組員並ニ在郷軍人會員ト協力シ食糧品ノ需求等ヲ満タス尚同羅災者ノ「バラツク」急造ニモ尽瘁奔走セリ

三 村ニ於テハ其時食糧品ノ問題ヲ介心シ非常徴発令ノ布カル、ト共ニ村内食糧品ノ有無ヲ調査シ徴発ノ手續ヲ了シ百六十五俵ノ玄米ヲ徴発シ一時之ヲ配付シ其后引続キ本県他府県等ヨリ諸給与ヲ受ケ其運搬配給等ニ良ク吏員ノ活動ヲ見タリ

四 村内里道ノ亀裂箇所多ク就中交通頻繁ナル葉山上宮田線県道ノ交通遮断セルヲ応急修繕ニ青年団員及消防組員等協力シ交通ヲ全カラシメタリ

大震災ニ於ケル本村ノ活動状況

西浦村

大正十二年九月一日突如相模灣ニ発セル大地震ハ史上未曾有ノ大事變ニシテ其ノ惨禍ノ大ナル他ニ類ヲ見ズ関東一帶ニ甚大ナル災害ヲ与ヘ其ノ影響ノ及ブ所実ニ測リ知レザルモノアリ殊ニ震源地ヲ去ル甚ダ遠カラザル我が三浦半島一帯ノ地ハ其ノ惨禍ハ更ニ一層甚大ナルモノアリキ、其ノ通信交通ノ途全ク絶ヘ燈火ノ資亦乏シク昼ハ間断ナキ余震ニ脅カサレ夜ハ不安ナル暗黒ニ襲ハレ大地震直後ノ大海嘯ハ漁民ガ生業ノ資ヲ奪ヒ山林ハ崩壊シ用水ハ其水路ヲ變ジ農民ノ努力ノ結晶タル水稻ハ大震災ノ為メ其ノ根ヲ絶タレ雨露ヲ凌グベキ家屋ハ倒潰ノ厄ニ遭ヒ実ニ凄絶惨絶ヲ極メタリ此ノ悲惨事ニ恐レ戦ケル村民ハ偶不逞鮮人襲来ノ飛報ニ接シ競々トシテ為ス所ヲ知ラズ

民心ノ不安実ニ其ノ極ニ達セリ

交通要路ノ杜絶ハ平素他ニ米塩ヲ求ムル本村トシテ食糧封鎖ノ戦禍ニ等シク在来ノ米ハ刻々ニ失ハレ村民ノ大半ハ餓ト恐怖トニ泣ク児女ヲ擁シテ徒ニ天ヲ恨ミ地ニ哭スルノミナナリキ

此時ニ当リ一村ノ命脈ヲ維持シ民心ノ安定ヲ得シムル一大責任ヲ有スル村当局ハ殉職ノ覚悟ヲ以テ公務ニ執掌シ粉骨碎心(マ)以テ時局ノ解決ニ努メタリ

震災直後幾多ノ諸問題中善処セルモノ、肉食糧問題ニ対シテハ震災直後時ヲ移サズ村内ニ防穀令ヲ布キ食糧ノ独立ヲ計リ在庫米ノ徵発ヲ断行シテ有無共通ノ食糧均霑策ヲ講ジ一方横須賀鎮守府ニ状ヲ具シテ食糧品ノ救護ヲ仰ギ又郡役所ヲ通シテ県当局ヨリ米塩雜品ノ配給ヲ受クルコトヲ得タリ、爾來交通稍恢復スルニ及ビ全国各地ヨリ震災地慰問トシテ寄贈セラル、物資漸ク多ク震災救護事務局ヨリ日ヲ踵イデ其レガ配給ヲ受ケ之レガ公平ナル分配ヲ期シテ前後拾六回ニ亘リ施米又ハ慰問品ノ分配日用品ノ廉売等ヲナシ其ノ間亜鉛釘塗料ノ供給ニ肝胆ヲ砕キ村民ガ衣食住ニ対スル一時的救急ノ実ヲ挙グルコトヲ得タリ是レ蓋シ全国民ガ陛下ノ赤子トシテ罹災地ノ者ニ対シ美シキ同胞愛ヲ以テ臨ミ救護作業ニ協力一致セル結果ナリト信ズ西浦青年団員及消防組員ハ震災直後大崩方面ノ道路ノ大破壊ノ為メ

交通杜絶セルヲ応急修理ヲナスベク活動シ全員総掛ニテ該工事ニ着手シ非常ノ艱勉ト努力トニヨリサシモノ難工事モ数日ニシテ人馬車、自動車ヲ通ズルコトヲ得シメタリ

更ニ同団員及消防組員ハ倒潰セル西浦小学校々舎ノ跡片付ニ着手シ數十名宛交代シテ毎日交互ニ出勤シ夫々ノ事業ニ着手シ連日ノ奮闘ニヨリテ漸ク整理ヲ了ヘタリ

次ニ西浦村役場倉庫ノ倒潰セルモノ跡片付及仮修理ノ工事ニ着手シ熱心ニ働キテ間モナク之ガ竣工ヲ告ゲタリ但シ此ノ工事ハ青年団員ノミナリ

其他本村トシテ取扱ヒタル事務ノ大要ヲアクレバ避難者ノ調査並ニ救護被害程度ノ調査震災地ノ人口調査各種低利資金ノ借入土木水利ノ応急策小学校ノ復興漁業ノ復興等ハ其ノ主ナルモノナリ

以上ノ事務ハ大略完了セルモノナリト雖モ中ニハ未ダ其ノ緒ニ就キタルニ過ギザルモノアリ其未完了ノ事務ニツキテハ今後ノ努力ニ依テ解決ヲ得ベキモノナリ

(三浦郡役所「庶務書類」(大正一四年) 神奈川県行蔵)